

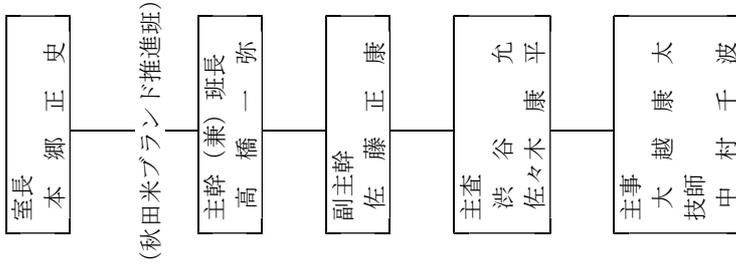
水田総合利用課
秋田米ブランド推進室

水田総合利用課秋田米ブランド推進室

(令和4年4月1日現在)

主な所掌事務

- (秋田米ブランド推進班)
- ・水稲新品種「サキホコレ」のデビュー対策
 - ・秋田米新品種ブランド化戦略本部の運営



事業名	サキホコレ！トップブランド確立事業		担当	秋田米ブランド推進班	
事業年度	令和4～7	事業主体	県、秋田米新品種ブランド化戦略本部	当初予算額	103,785千円
事業目的	「サキホコレ」が全国トップブランドとしての地位を確立するため、高品質な米の安定供給に向けた生産対策やブランドイメージと販売チャネル構築のための流通・販売対策、戦略的な情報発信等を総合的に実施する。			財源	
				国庫	713千円
				諸収入	7千円
				一般	103,065千円
実施内容	1 確かな品質で安定供給できる生産体制確立事業			12,288千円 (◎7千円、○12,281千円)	
	品質・食味の一層の向上と付加価値の高い商品づくりに向け、栽培試験を実施するとともに、生産の急速な拡大に対応した栽培技術の確立や技術指導體制を構築する。				
	(1) 栽培特性調査				
	①現地栽培試験 (4か所) ②施肥反応試験、特別栽培米試験、肥効調節型肥料試験 (農試) ③食味関連調査 (一財) 日本穀物検定協会39点				
(2) 品種特性を發揮できる栽培方法の確立					
作付推奨地域外における栽培試験 (35か所)					
(3) 生産・集荷体制の構築					
①栽培技術の普及					
ア 技術情報の提供 (技術普及展示ほの設置: 21か所、SNS等の活用: 年5回)					
イ 研修会の開催 (指導者研修: 年5回、生産者研修: 各地域で年5回)					
②生産者相互の技術研鑽の促進					
生産者協議会の開催、サキホコレマイスターの委嘱					
③区分集荷の推進					
食味分析計の調整					
2 トップブランド米の地位確立に向けた流通・販売対策事業				5,919千円 (◎713千円、○5,206千円)	
総合プロデューサーの監修の下にプロモーション等の統一的な展開を図り、訴求力のあるブランドイメージを構築するとともに、米穀専門店等への販路を構築する。					
(1) ブランド化総合プロデュース					
ロゴマークの活用や広告・イベントの企画等に係る指導・助言					
(2) ブランディングデザイン制作					
付加価値商品の米袋デザインやロゴマークの制作、プロモーションで使用するキャッチコピーの制作					
(3) 流通・販売促進活動					
集荷団体と連携した販路開拓、トップセールス、取扱店登録制度の創設、海外品種登録 (中国、韓国)					
3 幅広いファン獲得に向けた戦略的な情報発信事業				79,836千円 (○79,836千円)	
本格デビューするにあたり、全国に向けて戦略的に情報を発信し、関心や期待感を高めるとともに、サキホコレへの愛着心を醸成する。					
(1) デビュープロモーション					
①テレビCMの放映					
②デビューイベントの開催、キャンペーンの実施					
③メディアを活用した話題創出					
④ファンづくりのための贈答キャンペーン等の実施					
(2) 情報発信					
農業系高校における栽培実習、ホームページ・SNSによる情報発信等					
4 ブランド化戦略推進体制整備事業				5,742千円 (○5,742千円)	
「秋田米新品種ブランド化戦略本部」の円滑な運営を図るとともに、「秋田米新品種ブランド化戦略」に基づく取組を推進する (本部会議及び専門部会の開催等)。					